

# 木曽音楽祭の力

木曽音楽祭実行委員会会長 木曽町長 田中勝巳

今年で36回目を数える木曽音楽祭。三分の一世紀を超える長い歴史を振り返ると、さまざまなドラマに満ちている。国際音楽祭として出発したころは、華やかなスポットライトに照らされたが、一方で財政負担が重くのしかかった。当時の実行委員会にとって大きな重石であったろう。現在の原型が始まってからも、長く厳しい時期が続いた。演奏家と町のボランティアが一体となってこれを支え、苦難を乗り越えてきたといっている。

木曽音楽祭を心待ちにするお客さんがだんだん増えて、会場が満杯になった日、音楽祭を支えた実行委員会のメンバーは、抱き合って涙を流した。10年前だったろうか。

困難な時期を乗り越えた頑張りがある、はじめて今日の成功があると言える。

いま、この木曽音楽祭が、多くの参加者の魂を揺さぶっている。この木曽音楽祭の感動が、町づくりの大きなエネルギーになり、力になっているのだ。

例えば昨年からはじめた「メディア塾」は、木曽音楽祭と重なって開かれ、将来メディアの世界をめざす東西の学生60人が参加した。この学生を対象にした塾は2月にも、「冬のメディア塾」として開かれ、またこの夏も計画されている。もっとも主催者の徳山氏(大手新聞社)は、「木曽音楽祭のように、息の長い塾にしたい」と情熱を語った。氏は、数年前はじめて木曽音楽祭に参加して、木曽のような山間地にありながら、その水準の高さに驚いた。しかも演奏家とボランティアが協力し合って、30年の歴史を積み上げた姿に感動、ここなら「メディア塾」が出来るかもしれないと

考えたことが契機だった。

また、同じころ私は若い青年の訪問を受けた。「うちは少し変わった会社ですね。日本の優秀な学生が卒業すると、どんどん海外に出て行く。そんなことでこの日本はどうなるんだと議論しているうちに、教育の会社を造ろうということになりまして、それで出来た会社です」青年はそう言って自己紹介した。青峰高校の生徒が、6ヶ月宇宙に滞在したミヤコ草の種子の発芽実験をしたのは、この会社が持ち込んだ教材だった。今年木曽ヒノキの種子を最後のスペースシャトルで打ち上げ、その宇宙帰りのヒノキを育て、名所に記念植樹をしたいと願っている。

「ふるさと往来クラブ」もその一つ。東京に本部のあるNPO法人。木曽町にはじめてきたのが昨年2月だった。代表の古川猛氏は「面白い町だ。私は頑張る地方の応援団です」開田高原での懇親会の席で漏らした。いま、東京新宿にサテライトショップを開設、木曽町の他に福島県の産品なども扱っているが、店舗とともに移動販売車おんたけ号を運行している。

同じNPOの「緑の挑戦者」も応援団、東京に本部のある「木曽賢人会」もその一つだ。木曽町では、いま地域資源研究所の設立準備を進めているが、それを「応援したい」という学者が何人も名乗りを上げている。

これらの多くが「音楽祭が契機」だった。私はこれを「木曽音楽祭の力」とよんで、感動している。36回目となる今年、是非とも参加者の琴線に触れる祭典として成功させたい。

## チケット先行予約

**6月13日(日) 午前10時～午後5時**  
**木曽音楽祭事務局 Tel.0264(21)1222**  
 (6月14日からは平日午前8:30～午後5:30)(土日は受付けておりません)

### 木曽文化公園文化ホール 舞台

7	12	あ	13	24	あ	25	30
6		い			い		31
4		う			う		33
3		え			え		34
2		お			お		35
1		か			か		36
		き			き		
		く			く		
		け			け		
1	12	こ	13	24	こ	25	36
1	12	さ	13	24	さ	25	36
		し			し		
		す			す		
		せ			せ		
		そ			そ		
		た			た		
		ち			ち		
		つ			つ		
		て			て		36
		と			と		
1	12	な	13	24	な	25	32 33 34
							車椅子席

### 8月26日(木)7時 前夜祭コンサート

曲目は後日発表

### 8月27日(金)7時 フェスティバルコンサート I

ダンツィ●七重奏曲 (原曲:木管六重奏曲 Op.10)

<近藤 岡本 和田 加藤 大島 山崎 星>

ダマーズ●フルート、オーボエ、クラリネットとピアノのための四重奏曲

<佐久間 古部 山本 寺嶋>

リゲティ●6つのバガテル

<佐久間 古部 近藤 菅野 吉永>

ドヴォルザーク●弦楽五重奏曲 第2番 ト長調 Op.77

<久保 白井 菅沼 伝田 星>

### 8月28日(土)5時 フェスティバルコンサート II

シューベルト●八重奏曲 へ長調 D.803

<山本 岡本 吉永 白井 漆原 飛澤 山崎 星>

ドヴィエンヌ●ファゴット四重奏曲 ト短調 Op.73-3 <岡本 漆原 大島 伝田>

シューマン●ピアノ四重奏曲 変ホ長調 Op.47 <加藤 飛澤 花崎 野島>

### 8月29日(日)3時 フェスティバルコンサート III

グノー●小交響曲 (管楽九重奏曲)

<佐久間 古部 多田 山本 近藤 岡本 菅野 吉永 和田>

コルンゴルト●ピアノ五重奏曲 ホ長調 Op.15 <漆原 白井 大島 花崎 寺嶋>

ブラームス●弦楽六重奏曲 第1番 変ロ長調 Op.18

<久保 加藤 菅沼 飛澤 山崎 伝田>

## 交通のご案内

新宿 ⇄ 木曽 直通高速バスで4時間10分

木曽福島行き		新宿行き	
新宿駅西口 発	木曽福島駅前 着	木曽福島駅前 発	新宿駅西口 着
8:10	12:20	7:40	11:50
17:20	21:30	15:40	19:50

片道運賃=新宿~木曽福島 4,500円(往復券10%引・回数券4枚12.5%引)

お問い合わせ・ご予約=京王高速バス予約センター Tel.03(5376)2222

おんたけ交通高速バス予約センター Tel.0264(22)4555

インターネット=<http://www.highwaybus.com> iモード=<http://www.highwaybus.com/i>

## 電車 (JR特急)

■東京から木曽福島  
 中央本線 あずさ、塩尻、しなの、中央本線…約3時間20分  
 新幹線 →長野、しなの、中央本線…約3時間20分

■名古屋から木曽福島  
 中央本線……………1時間18分

## 車

■東京(高井戸IC)から木曽福島  
 中央自動車道 塩尻IC→R19…約3時間45分  
 中央自動車道 伊那IC→R361→R19…約3時間30分

■名古屋から木曽福島  
 中央自動車道 中津川IC→R19…約2時間10分  
 中央自動車道 伊那IC→R361→R19…約2時間20分